



収穫を待つリンゴの「ふじ」。北田健さんと家族が丹精（たんせい）こめたリンゴは、どこにも負けないおいしさです＝盛岡市・黒川地区



ここでもおいしいリンゴが売られていま  
すね。本州で一番最初にリンゴのさいばい  
が始まったのは盛岡市だといわれていて、  
1世帯あたりのリンゴ消費額が全国1位な  
んですよ。リンゴ生産がさかんな黒川地区  
をたずね、さいばいの苦労を聞きました。

# いとしも立派なリンゴ

**黒川** 黒川地区は盛岡市の南東部に位置し、北上川に向かつて東から西にゆるい斜面が広がっています。北田健さん（59）は、およそ4畝の畑で二十数種類のリンゴを育てています。「日が長時間当たると、リンゴに向いている土地です。70年、80年と作り続けている農家もあります」と話します。

リンゴ農家にとって「わいのは台風などの強い風です。こどもも何度が強風がふき、傷がついた実もあるそうです。「リンゴの木に

**北** 田さんの畑には、もう来年の芽がついてるんですよ。この芽と実がすれてしまふんです」と教えてくれました。

「うすく収かさをむかえる「心」が実っています。毎年立派な実をつけるのは、じつは冬から準備を準備しているからです。」

正月明け早々、いろいろな枝を切る「剪定」という大事な作業が始まります。畑にある2千本以上の木は「二本一本性格がちがいます」と言い、それぞれの木に合わせて枝を落としま

## 盛岡・黒川一つ一つに手間と愛情

す。来年以降のことでも考え、枝を落とすんです。

**リ** ンゴは1株に五つの花がさきます。そのままだと小玉の実になるので、中心の花以外は取ってしまいます。実がついても全部大きくなるわけではなく、よりすべりの実だけを残します。よぶんな葉をみどつたり、病害虫を防止して、よゆやく大きなリンゴが実ります。北田さんは「8月の天気が悪くて心配しましたが、えいぎょうありませんでした」とむねをなで下ろします。

「生産量では他の県におよばなくても、岩手のリンゴは折り紙付きのおいしさです。一個一個にたっぷり愛情をこめたリンゴを、たくさん味わってほしい。」

(2017年11月14日付・岩手日報こども新聞1面)

### 2014年版地図帳で調べた時の解答例

1. 地図帳を使って、リンゴの生産量ベスト3を調べましょう。

1位 = **青森県**

2位 = **長野県**

3位 = **山形県、岩手県**

調べた年 ( **2014** 年 )

2. 盛岡市は、リンゴについて、どんなことが全国1位ですか。

**1世帯あたりのリンゴの**

**消費額**

3. 盛岡市黒川地区で、リンゴの生産がさかんなのは、どうしてでしょう。

**日が長時間当たって、リンゴに向いている土地だから**

4. リンゴは1株に五つの花がさきますが、中心の花以外は取ってしまいます。それは、どうしてでしょう。

**そのままだと小玉の実になるため**

5. 北田さんは二十数種類のリンゴを育てているそうです。お店に行った時、売られているリンゴの種類を調べてみましょう。

**略**

年 組 名前